

年 組 名前:

問1

富士川町を中心に活動する「ぐりぐらの会」は、どこを中心に、どのような活動をしていますか。

・どこで

.....

・どのような活動

.....

問2

活動は、実施月によってどのような工夫をしていますか。

.....

.....

.....

.....

問3

会は、地域に伝わる民話の継承にも取り組んでいます。どのようにして昔話を集めていますか。

.....

問4

会が、今までに作り上げた2つの民話の作品名を、教えてください。

.....



絵本の読み聞かせをする「ぐりぐらの会」のメンバー  
＝富士川町児童センター（8月）

つながる  
支える

〈18〉

富士川町を中心に活動する「ぐりぐらの会」は、放課後児童クラブを中心に絵本の読み聞かせ活動をしている。地域に伝わる民話を題材にした紙芝居も上演。宮沢三重子代表(80)は「子どもたちとの

ぐりぐらの会

(富士川町)

読み聞かせ 民話も伝承



深沢 滯

関わりを楽しみながら活動を続け  
ている」と話す。  
2014年5月、町内の児童館  
が募集していた、読み聞かせの担  
い手として元教員5人が応募して  
結成。「子どもたちが親しみやす  
いように」（宮沢代表）と、名称  
は絵本「ぐりぐら」シリーズか  
ら取った。現在は町民を中心  
に25人が所属。活動場所も町内の児童  
館と保育園の計4カ所に広がり、  
毎月2回程度、各所で読み聞かせ  
をしている。  
メンバーはチームを設け、交代  
で読み聞かせに参加。取り上げる  
絵本は、1年生が入学したばかり  
の4、5月は平易な作品、8月は  
戦争や命の大切さを学ぶ読み物な  
ど、チームごとに工夫して選んで  
いる。

町内外のデイサービス施設や各  
種イベント会場などでも読み聞か  
せを実施。年2回ほどメンバー全  
員が参加し、読み聞かせのコツを  
学ぶ講習会を開くなど技術を磨い  
ている。事務局の大森きよ子さん  
(75)は「物語に夢中になってくれ  
る子どもたちの姿が励みになる」  
と話す。  
地域に伝わる民話の継承にも取  
り組んでいて、メンバーが町誌を  
調べたり、民話を覚えていた高齢  
者に取材したりして昔話を集めて  
いる。取りまとめた内容は宮沢  
代表の夫・千秋さん(85)が紙芝居  
に仕立て、メンバーが学校などで  
紹介。これまでに甲斐湖水伝説に  
まつわる「馬の瀬」や、旧増穂町  
一帯の呼称の由来となった「二千  
騎ヶ原」などを作品に仕立ててき  
た。  
同会は今年、結成10周年を迎え  
た。宮沢代表は「これからも子ど  
もたちに読書の楽しさや地域の魅  
力を伝えられるよう活動してい  
きたい」と話している。  
〈深沢滯〉  
＝第1、3土曜日に掲載します

(2024年11月16日付 山梨日日新聞 19面)